

あそなんごうひ 阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会からのお知らせ

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会は、九州における神社仏閣や城郭建築などの伝統建築へ用材の供給を目標とした大径材・優良材ヒノキ「阿蘇南郷檜の森づくり」による、日本の木の伝統文化を支えるまちづくりへ繋げる活動をしています。

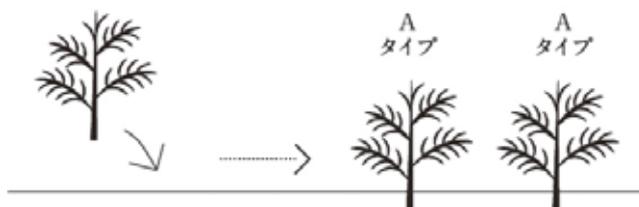
阿蘇南郷檜とは

阿蘇地域は、古来より外輪山に囲まれた陸の孤島とも言える特別な地域（カルデラ）でした。そこで中世、江戸期より人から人へ親から子へ代々伝承されて植え継がれてきた希少なヒノキの品種が阿蘇南郷檜です。

通常の檜が実から種を採種して育てるのに対し、阿蘇南郷檜は古くからの御神木のDNAを挿し木によって受け継いできたクローン品種であり、その独自性から挿し木ヒノキの在来品種として国内唯一のヒノキ林業品種（基準品種）として認定されました。

その特徴として、根本から梢まで均一の太さで立ち上がっており断面は真円に近いということから建材として大変優秀であり、挿し木によりその優良性、均一性を保つことができる檜のサラブレッドとも呼べる日本でも有数の優良品種です。

A タイプの挿し木



協議会の具体的な活動

- ①阿蘇南郷檜の森づくり、九州の伝統建築の歴史研究に関すること。
- ②阿蘇南郷檜の苗木生産、獣害対策に関すること。
- ③阿蘇南郷檜の育林技術の普及、後継者育成に関すること。
- ④阿蘇南郷檜の需要拡大に向けた資源量調査に関すること。
- ⑤阿蘇南郷檜の木材利用に向けたマーケティング調査に関すること。
- ⑥小国杉と連携した地域ブランド材としての魅力向上に関すること。



大切に育てられる山林は、木の価格だけでなく、環境保全にも役立っており、温もりのある木造建築、歴史ある伝統建築にも使用されます。今後も未来へつなぐ森づくりへの継続した事業を展開していきます。

令和2年度の支援事業について

【植栽推奨】 募集期間：令和2年8月31日（月）まで

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会は、羽田樹苗園（南阿蘇村）にて生産される阿蘇南郷檜の苗木の植栽、育成について阿蘇森林組合と連携し実施しています。

主伐再造林、補植などのご希望については下記の問い合わせ先までご相談ください。

※森林経営計画（保育実施計画）を立てる必要があります。

【銘木市出品】 募集期間：令和2年8月31日（月）まで

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会は、令和2年10月23日（金）に、熊本木材株式会社にて開催される「くまもと秋の選木&銘木市」に「阿蘇南郷檜」として販売するため、運搬費・積積料を支援しています。

（集材条件）①スギ・ヒノキ（ナンゴウヒ）の混交林からも出品できます。

※ただし、補助対象経費はヒノキのみで算出します。

②手入れの行き届いた優良材を募集しています。

※6m程度まで枝打ちされている中径材（末口16cm以上）

※材長3m（枝打高）、末口30cm以上（胸高直径36cm程度）



随時会員を募集しております。要件や会費については阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会までご連絡ください。

問合せ先：阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会（高森町役場農林政策課内 担当 高田／高倉）

〒869-1602 高森町大字高森2168番地 TEL:0967 (62) 2915 FAX:0967 (62) 1174